

## あいハート須磨

### 中期経営計画実施結果(平成28年度～平成30年度)

#### 1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(利用者、家族、地域住民の要望に応える運営を行い、福祉社会への情報発信に努めます。)

- ・地域課題の解消に向けた社会貢献施策を検討し、実行に向けた対応を進めます。
- ・社会貢献に向けた取組み状況を機関紙やWebサイトを通じて発信します。



##### ■須磨区社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット須磨)の取組み

- ・須磨区社会福祉法人連絡協議会設立に向け、「規約」や「運営体制及び運営方針」の作成に参画しました。
- ・設立(平成29年2月)後は、会の副代表として、「総合相談事業」の立上げに向けた検討に参画しています。実務者向けの研修会を開催するなど、準備を進めていますが事業開始には至っていません。

##### ■地域包括支援センターの活動を通じた取組み

- ・地域ケア会議や地域の食事会等を通じて、継続的に情報収集を行っています。
- ・平成28年度から自治会主催の「夏祭り」と「餅つき」の準備や後片付けのお手伝いを行っています。

##### ■社会貢献に関する取組内容の発信

- ・法人機関紙(愛&ハート)を通じて、社会貢献に関する取り組みを紹介しました。  
平成28年8月号:知的障害者就労支援事業所の利用者に対する作業機会の提供  
平成28年11月号:NPO法人主催の食事会への食事準備  
平成29年2月号:企業からの要望に対応した研修(介護の基礎知識、入居者との交流)
- ・平成29年度以降は、取組内容の紹介には至りませんでした。

#### 現状の社会貢献施策

- ①法定雇用率を超えた障害者雇用(法定雇用率:2.0% 実績:7.24%(平成31年3月実績※)  
※あいハート須磨のみ
- ②独り暮らしの高齢者を対象とした食事会への食事準備(月3回 第1・3・5木曜日)
- ③NPO法人主催の食事会への食事準備(週1回)
- ④企業からの要望に対応した職員研修の実施
- ⑤ボランティアや福祉人材(実習生の受入れ含む)の育成
- ⑥イベント(夏祭り)を通じた地域交流
- ⑦地域のサークル活動支援(会場提供)
- ⑧地域の自治会活動の支援(夏祭り・餅つき大会) 平成

- ・「知的障害者就労支援事業所の利用者に対する作業機会の提供(週2回)」については、事業所側の支援体制の問題であいハート須磨での就労訓練は終了となりました。(平成29年10月終了)
- ・シルバーハウジングの住民を対象とした食事会は、平成29年度で終了しました。
- ・企業からの要望に対応した職員研修は、平成29年度以降、要望がない状況が続いています。

#### 2. 安心して信頼されるサービスの提供

(安心、安全なサービスの提供と質の向上を図り、信頼獲得に努めます。)

##### (1) サービス向上の取組み

「サービス向上」に向けた取組内容や施策(手段・方法)、取組みによる成果・状態(目的・目標)を部門別・年度毎に整理します。(期間:平成29年度～平成31年度)



部門別中期計画(期間:平成29年度～平成31年度)を策定、部門毎にサービス向上に向けた取組みを展開しています。

## ■特養

- ・①個別排泄ケアの確立、②個別認知症ケアの確立、③口腔環境の改善と常食化の推進をテーマに、プロジェクトチームを立ち上げて取り組んでいます。(①③平成29年度開始、②平成30年度開始)
- ・個別排泄ケアの活動を通じて、「施設内の臭い」に関する取り組みも始まっています。
- ・認知症ケアの一環として、入居者による自治会活動を開始、入居者間のコミュニケーションの充実や施設に対する要望の収集などを試みています。
- ・プロジェクト活動を通じて、朝の口腔ケアが定着したことで、歯科衛生士からも評価されるほど入居者の口腔環境は改善されています。

## ■ショートステイ

- ・①送迎サービスの充実(土日送迎の開始)と②ショート相談員の増員をテーマに取り組んでいます。
- ・送迎サービス充実については、「実現のために必要な職員体制」を整理することができましたので、職員確保の目的が立つまで一時、取り組みを中止することとしました。
- ・2名の職員が相談員業務に従事しながら、経験を積んでいます。

## ■須磨デイサービス

- ・①自立支援の向上、②機能訓練の充実、③新規事業の検討をテーマに取り組んでいます。
- ・自立支援については、委員会(入浴・排泄・食事)を中心に対象利用者を選定、個別支援を展開しています。
- ・機能訓練の充実については、平成29年度末に機能訓練室を開設、PTIによる機器を利用した機能訓練を実施しています。利用者やケアマネージャーからの評価も高く、算定者数も順調に増加しています。

## ■居宅介護支援事業所

- ・①個別課題に対する対応方法や専門職としての視点の統一化、②困難ケースに対する対応力の向上、③アセスメント力の向上、④医療・障害者福祉制度に関する知識の習得等をテーマに取り組んでいます。
- ・事例検討会や研修会、担当内での情報共有を通じて、知識の習得とスキルの向上が継続しています。

## ■地域包括支援センター

- ・①介護予防・日常生活支援総合事業への対応、②認知症施策への対応、③業務運営体制の検討をテーマに取り組んでいます。
- ・「地域ケア会議」や「認知症サポーター養成研修」等を通じて、地域との関係が強化されています。

## (2)防災対策

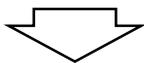
- ・防災マニュアルに基づいた勉強会を開催し内容の充実を図ります。(平成28年度～30年度)
- ・居宅部門と地域包括部門の対応内容を追加します。(平成28年度)
- ・風水害対策を追加します。(平成29年度)



- ・「風水害・土砂災害」を含んだ防災マニュアル(初動対応)を平成29年3月に作成しました。
- ・平成29年度から四半期毎にメーリングリストサービスを利用した安否確認訓練を実施しています。返信ルールの浸透、返信率の向上で成果が現れています。
- ・居宅部門と地域包括部門の対応内容(担当利用者への対応)については、実際に使用する際の利便性を考慮して防災マニュアルへの追加を中止しました。
- ・防災マニュアルに基づいた勉強会は、開催に至りませんでした。
- ・平成28年度から神戸市シェイクアウト訓練に参加、震災時の初動訓練を行っています。
- ・防犯マニュアルを作成するとともに、須磨警察の協力を得て防犯研修を実施しました。(平成30年度)

(3) 誤請求防止の取り組み

- ・四半期毎に内部監査を実施し、内容の充実と定着化を図ります。（特養：2回、デイサービス：2回）
- ・平成29年度以降も定期的に内部監査を継続します。



- ・平成29年度までは、概ね内部監査を実施することができましたが、平成30年度は実施には至りませんでした。

3. 安定的で継続性を持った経営

(社会的な要請への対応と法令遵守を基調に安定的で継続性をもった経営を行います。)

(1) 人材確保

- ・「部門別の職員構成(性別・年齢層等)」や「業務量の変化」、「収支バランス」、「新規事業への対応」、「部門間人事交流」等から採用計画を検討します。
- ・ケアマネージャー(居宅部門)のキャリアプランを検討します。
- ・あんしんすこやかセンターの職員体制を補強します。
- ・見学者・実習生・ボランティア等からの採用ルートの確立に向けた検討・対策を開始します。



- ・様々な要素を考慮した採用計画の検討には至りませんでした。
- ・新たな人材確保施策を展開しました。  
 平成28年度：①マイナビ掲載開始、②就職フェアへの取組強化、③介護補助職員の配置  
 平成29年度：①EPA介護福祉士候補者獲得に向けた取り組み、②他府県の高等学校へのアプローチ、  
 ②各種手当の見直し、創設、③準職員基本時間給の見直し、④外国人留学生の雇用  
 平成30年度：①定年再雇用賃金の見直し、②就職活動用教科書への広告掲載、③リフレッシュ休暇の試行実施。
- ・ケアマネージャー(居宅部門)のキャリアプランについては、主任ケアマネへのステップアップを基本としながら、①管理者、②施設ケアマネ、③認定調査員等のコースを「本人の意向」と「組織的要素」を総合的に勘案して決定します。
- ・あんしんすこやかセンターの職員体制の補強は、概ね達成できました。
- ・活躍が期待できる実習生・学生ボランティアに対しては、進路の確認やボランティアの継続依頼を行っています。

【あんしんすこやかセンターの職員体制】

平成28年1月末

		20代	30代	40代	50代	60代	計
正職員	四職種		1	3			4
		0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	100.0%
準職員	プランナー				1	2	3
		0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	100.0%



平成31年3月末

		20代	30代	40代	50代	60代	計
正職員	四職種		1	2	2		5
		0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	100%
準職員	プランナー		1	1		2	4
		0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	100%

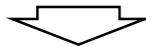
(2)人材育成

- ・「職員のモチベーション向上」や「サービス品質の向上」、「あいハートらしさの継承」、「外部評価の上昇」、「弾力的な利用者・入居者受入れの実現」、「加算算定による収入増」等を目指し、育成計画を策定・実施します。

(2)－1 認知症ケア関連資格

【計画】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
特養	実践者研修	1	1	1	1
	累計	3	4	5	6
	リーダー研修	-	2	1	1
	累計	-	2	3	4
須磨デイ	実践者研修	1	2	2	1
	累計	1	3	5	6
南町	実践者研修	1	2	-	-
	累計	1	3	3	3



【実施結果】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
特養	実践者研修	1(荻野)	1(竹内)	1(田口)	1(丸毛)
	累計	3 宇根、東根 荻野	4 宇根、東根 荻野、竹内	4 宇根、荻野 竹内、田口	4 宇根、荻野 竹内、丸毛
	リーダー研修	-	2(宇根、東根)	1(荻野)	1(竹内)
	累計	-	3 原田、宇根 東根	3 原田、宇根 荻野	5 原田、宇根、荻野 竹内、桧垣
須磨デイ	実践者研修	1(山本)	2(三枝、上村)	0	2(田口、島田)
	累計	1 山本	3 山本、三枝 上村	3 山本、三枝 上村	4 三枝、上村 田口、島田
南町	実践者研修	1(川本)	2(辻、千谷)	-	-
	累計	1 川本	3 川本、辻、千谷	2 辻、千谷	3 辻、千谷、山本

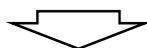
- ・概ね計画通りに研修を修了することができました。
- ・特養については、新たに採用した職員が「リーダー研修修了者」であったため、平成30年度末の累計修了者数は当初計画を上回っています。
- ・全部門において、加算算定要件は安定した状態にあります。

(2)－2キャリア段位制度

■特養・ショート

【計画】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
アセッサー	単年度	1	1	2	2	
	累計	1	2	4	6	
レベル認定者	単年度	新アセッサー	1	1	2	2
		既存アセッサー	-	2	4	8
	累計	1	4	10	20	



【実施結果】

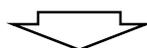
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
アセッサー	単年度	1(岡田)	1(永綱)	2(原田、竹内)	2(荻野、三田)
	累計	1 岡田	2 岡田、永綱	4 岡田、永綱 原田、竹内	6 岡田、永綱 原田、竹内 荻野、三田
レベル認定者	単年度	新アセッサー	1(谷崎)	2(東根、竹内)	3(三田、笠井、 奈女田)
		既存アセッサー	-	2(荻野、丸毛)	5 谷崎、竹内 荻野、丸毛 三田
	累計	1 東根	3 東根、谷崎 竹内	4 谷崎、竹内 荻野、丸毛	5 谷崎、竹内 荻野、丸毛 三田

- ・アセッサーは、画通りに研修を修了することができました。
- ・特養業務とレベル認定業務の両立が非常に困難であるため、研修担当主任が中心になってレベル認定を行っています。
- ・レベル認定には、一定の期間(概ね6ヵ月程度)を有するため、認定者数は当初の計画を大幅に下回りました。

■須磨デイサービス

【計画】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
アセッサー	単年度	-	1	1	1	
	累計	-	1	2	3	
レベル認定者	単年度	新アセッサー	-	1	1	1
		既存アセッサー	-	-	2	4
	累計	-	1	4	9	



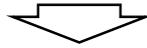
【実施結果】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
アセッサー	単年度	-	1(仙波)	0	0
	累計	-	1 仙波	1 仙波	1 仙波
レベル認定者	単年度	新アセッサー	-	0	0
		既存アセッサー	-	0	0
	累計	-	0	0	0

- ・デイサービス業務とレベル認定業務の両立が非常に困難であるため、レベル認定を途中で断念しました。
- ・レベル認定は、要介護4の利用者を基本にしているため、デイサービスでは対象者が少なく、認定機会が制約されるという要素もあるため、平成29年度以降はアセッサー研修の受講も中止することとしました。

■南町デイサービス

入浴介助の評価があるため、須磨デイの実施結果を踏まえて対応を検討します。



須磨デイの実施結果を踏まえて対応を見送ることとしました。

(2)－3介護福祉士資格取得

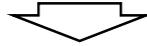
介護福祉士実務者研修の受講料補助を行い、資格取得を推進します。

■介護福祉士資格保有状況

平成28年1月末

	特養・ショート			須磨デイ			南町		
	正職員	準職員	計	正職員	準職員	計	正職員	準職員	計
取得済	12	2.7	14.7	4	2.5	6.5	3	2.6	5.6
未取得	7	4.8	11.8	1	2.6	3.6	0	1	1
計	19	7.5	26.5	5	5.1	10.1	3	3.6	6.6
取得率	63.2%	36.0%	55.5%	80.0%	49.0%	64.4%	100.0%	72.2%	84.8%

部門長除く



平成31年3月末

	特養・ショート			須磨デイ			南町		
	正職員	準職員	計	正職員	準職員	計	正職員	準職員	計
取得済	13	4.6	17.6	4	2.5	6.5	3	1.7	4.7
未取得	4	5.48	9.48	2	0.7	2.7	0	2	2
計	17	10.08	27.08	6	3.2	9.2	3	3.7	6.7
取得率	76.5%	45.6%	65.0%	66.7%	78.1%	70.7%	100.0%	45.9%	70.1%

部門長除く

- ・平成28年度に6名※の職員に対して介護福祉士実務者研修の受講料補助を実施しました。  
※川合、川本、五月女、鈴木、前原、吉岡(全て特養)
- ・平成29年度以降は、神戸市社協で補助制度ができたため、制度活用のサポートを実施しています。  
平成28年度1名(特養 佐々木)、平成30年度:対象者なし

(2)－4喀痰吸引研修

■受講計画(特養・ショート)

- ・無資格者を優先に、介護福祉士の受検資格取得と合わせて受講計画を展開します。
- ・看護体制の整備を行い、介護福祉士実務者研修の終了者に対し順次、実地研修を行います。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
単年度	1	2	2	2
累計	15.5	17.5	19.5	21.5

■特定行為業務従事者認定状況

		平成28年1月末	平成31年3月末
正職員	経過措置	12	8
	2号研修	1	4
	無資格	6	5
準職員	経過措置	1.5	1.7
	無資格	5.95	8.4
計	経過措置+2号研修	14.5	13.7
	無資格	11.95	13.4

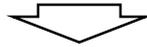
- ・平成28年1月末時点での無資格者6名(石原、川合、五月女、前原、吉岡)のうち、2名(川合、前原)は、2号研修を修了しています。(その他4名は退職)
- ・平成31年3月末時点での無資格者5名:今岡、笠井、山元、グエン ティフエ、ファム ティトン

### (3) 収支改善

#### (3)－1 南町デイサービス

- ・新規利用者の獲得を基本に収入の増加を図るとともに、コスト削減の取り組みを行い、収支均衡を目指します。
- ・平成28年度から平成29年度の収支改善状況と平成30年度の報酬改定の影響を基に事業継続の可否を検討します。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
・収支改善施策の実施	→		
・介護報酬改定			■
・事業継続の可否検討			→



#### ■ 資金収支実績の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (着地見込み)
事業活動収入計	57,565,378	52,287,455	61,714,460	66,885,341	55,327,396
事業活動支出計	58,507,334	62,585,319	61,871,903	65,479,587	62,197,627
①事業活動資金収支差額	-941,956	-10,297,864	-157,443	1,405,754	-6,870,231
②ファイナンスリース債務返済支出			511,200	681,600	738,776
③退職給付引当資産支出	426,151	413,821	411,486	382,771	416,464
①-②-③	-1,368,107	-10,711,685	-1,080,129	341,383	-8,025,471
①-②-③(累計)	-1,368,107	-12,079,792	-13,159,921	-12,818,538	-20,844,009

稼働率	71.4%	66.1%	77.3%	74.6%	63.7%
平均要介護度	1.78	1.58	1.63	1.92	1.89

#### ■ 介護報酬改定の影響

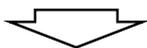
	改定前	改定後		利用者構成	収入		
	単位	単位	増減率		改定前	改定後	影響額
要支援1	1,647	1,647	0.0%	5.2%	199,000	199,000	0
要支援2	3,377	3,377	0.0%	8.6%	675,000	675,000	0
要介護1	656	645	-1.7%	28.1%	12,924,000	12,707,000	-217,000
要介護2	775	761	-1.8%	23.9%	12,986,000	12,751,000	-235,000
要介護3	898	883	-1.7%	22.3%	14,040,000	13,805,000	-235,000
要介護4	1,021	1,003	-1.8%	7.7%	5,512,000	5,415,000	-97,000
要介護5	1,144	1,124	-1.7%	4.2%	3,369,000	3,310,000	-59,000
平均	1,360	1,349	-1.2%	100.0%	49,705,000	48,862,000	-843,000

前提条件 定員25名 営業日数362日 稼働率74%

- ・収支改善に取り組んだ結果、平成29年度には本部運営費は負担できないものの単年度黒字の水準に回復しました。
- ・平成29年度第3四半期から第4四半期にかけて、主任と職員1名(フルタイム)が退職して以降、十分な営業活動が展開できなくなったため、再度、収益は悪化しています。
- ・平成30年10月に須磨デイサービスからの異動と新規採用で職員補充が完了したため、再度、営業強化を行い事業継続を目指しています。

(3) - 2 生きがい対応型デイサービス

- ・総合事業への移行による変動要素はあるものの、当面の間は利用者が大幅に増加するとは考え難い状況にあります。
- ・業務運営体制の見直しを検討し収支改善に向けた取り組みを実施します。
- ・収支改善施策の成果と総合事業の契約内容を基に事業継続の可否を検討します。



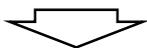
・総合事業(地域拠点型一般介護予防事業)への移行の際に開催された事業者説明会(平成28年12月)において、「当該事業の運営主体としては社会福祉法人を想定していない」との考えが神戸市から示されたため、事業廃止に向けた対応を行いました。(平成29年3月31日 事業廃止)

(4) 計画的な改修工事の実施

(4) - 1 年度別改修計画

- ・「故障の発生状況」や「耐用年数の経過状況」等から優先順位をつけて実施します。
- ・コージェネ発動機の更改については、平成28年度中に更改内容を検討し費用総額を明らかにします。消費税増税の動向を見ながら、契約時期を決定します。

平成28年度		平成29年度		平成30年度	
汚水槽水中ポンプ更改	200,000	コージェネ発動機更改※	35,000,000	受電設備更改	4,000,000
全館・衛生配管等の高圧洗浄	800,000	緊急修繕	500,000	キュービクル塗装	300,000
照明スイッチ整備工事	900,000	修繕用部材	300,000	緊急修繕	500,000
旧照明設備のLED化	2,000,000			修繕用部材	300,000
ガス警報器更改	100,000				
便器センサーの更改	120,000				
ビル監視システム用BU用電源	100,000				
汚物室排気ファン更改	200,000				
デイ浴室・脱衣室フィルム施工	300,000				
2階・3階共用部床改修	2,300,000				
1階ロビー・食堂クッション	250,000				
事務スペース拡張	5,000,000				
緊急修繕	500,000				
修繕用部材	300,000				
計	13,070,000	計	35,800,000	計	5,100,000

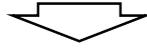


平成28年度		平成29年度		平成30年度	
汚水槽水中ポンプ更改	213,840	コージェネ発動機更改※	12,964,000	受電設備更改	
全館・衛生配管等の高圧洗浄	781,920	曝気ポンプの更改	1,002,240	キュービクル塗装	
照明スイッチ整備工事		リハビリ室新設	4,201,200		
旧照明設備のLED化	2,777,976	計	18,167,440	計	0
ガス警報器更改	50,760				
便器センサーの更改	127,872	緊急修繕・修繕用部材		緊急修繕・修繕用部材	
ビル監視システム用BU用電源	119,880	医務室扉の修繕	56,160	汚水排水管の高圧洗浄	196,560
汚物室排気ファン更改	183,600	給湯1次ポンプ修繕	104,760	2階・3階脱衣室トイレ手摺修繕	132,800
デイ浴室・脱衣室フィルム施工	209,044	消防点検結果に基づく修繕	201,960	機械室内コージェネ循環ポンプ取替	205,200
2階・3階共用部床改修	2,397,600	汚水排水管の高圧洗浄	199,800	防火設備定期報告	162,000
1階ロビー・食堂クッション	238,680	デマンド監視装置配線工事	71,280	消防点検結果に基づく修繕	129,600
事務スペース拡張	5,292,000	地下倉庫床の改修	328,320	デイサービス定置止水ユニット交換	36,720
計	12,393,172	コージェネ発動機故障修理	220,989	2階排煙窓修繕	99,360
		特殊建築物定期調査	162,000	機械室内貯湯槽清掃	140,400
緊急修繕・修繕用部材		防火設備定期報告	162,000	床暖房用コントローラー更改	169,560
消防点検結果に基づく修繕	502,200	デイサービス浴室シート張替え	172,800	水栓取替(1階2カ所、3階1カ所)	129,686
受水槽給水管の緊急修繕	78,840	給湯・暖房用配管修繕	140,400		
共調電波調査と機器取替	141,480	機械室内貯湯槽清掃	151,200		
デイサービスシャワー水栓	95,040	厨房内給気・排気フィルター購入	49,680		
デイサービス浴室シート張替え	102,600				
漏電調査・修繕	48,600				
デイサービス浴室タイル	54,000				
給湯循環ポンプ修繕	172,800				
2階共用トイレ修繕	12,960				
計(緊急修繕・修繕用部材)	1,208,520	計(緊急修繕・修繕用部材)	2,021,349	計(緊急修繕・修繕用部材)	1,401,886
計	13,601,692	計	20,188,789	計	1,401,886

※コージェネ発動機更改: 17,064,000円(12,964,000円+4,100,000円(補助金))

#### (4) - 2 特養多床室対策

- ・平成28年度に特養多床室のプライバシー保護に関する補助金について情報収集を行います。
- ・情報収集結果に基づき、今後の対応を検討します。



- ・補助金申請を検討するために「ショート多床室での検証」を計画、2社に対して改修プランと見積りの提案依頼を行いました。
- ・改修プランを実施した場合の工事費用が補助金を上回ることや今後の改修計画における選択肢の多様性を勘案して「ショート多床室での検証」を見合わせることにしました。(平成29年度)
- ・特養の増床計画とセットで検討します。

#### (5) 新規事業の検討

第6期神戸市介護保険事業計画や現在の事業所数等を基に新規事業の検討を行います。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
・事業種別の検討・決定	→		
・事業所要件の検討 (建物・土地・エリア)		→	
・物件情報収集			→
・事業計画策定			→



- ・平成28年度: 新規事業の検討には至りませんでした。
- ・平成29年度: 新規事業の目的と事業内容を検討する際のポイントを整理しました。  
目的: 既存事業を安定運営するための収益確保  
事業内容検討のポイント: ①地域ニーズ、②開業期間、③既存リソースの活用、④複合効果
- ・平成30年度: 「特養の増床」を基本に「企業内保育」と「保険外事業」について検討を進めることにしました。  
神戸市に対して増床に関する留意事項を確認するとともに、増床等による増員規模や現状の課題(会議室の場所や更衣スペースの不足等)について整理を行い、設計に関するプロポーザルの準備を進めました。

#### 4. 地域交流の推進

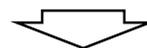
(地域社会の活動拠点として、施設と利用者が地域社会の一員としての役割が果たせるよう取り組みます。)

##### ① ボランティアの受入推進

ボランティア名簿の更新やボランティアとの意見交換を継続します。

##### ② イベント等の実施

- ・夏祭りや仲よし交流会等、地域交流イベントを継続します。
- ・企業や学校からの研修・実習依頼の対応を継続します。



- ・従来の取り組みを継続しています。
- ・平成28年からは、新たに自治会主催の「夏祭り」と「餅つき」の準備や後片付けのお手伝いを開始しました。